

令和6年度 人づくりまちづくり研修会①

1 目的 津山教育事務所管内の各市町村社会教育委員及び生涯学習・社会教育関係職員等が一堂に会し、講演及び情報交換等を通して、これからの市町村における生涯学習・社会教育の一層の推進を図る。

2 主催 美作地区社会教育委員連絡協議会・美作地区社会教育協議会

3 日時 令和6年6月12日(水) 13:30~16:15

4 会場 津山市中央公民館

5 参加者 市町村社会教育委員、生涯学習・社会教育関係職員、公民館職員

6 日程

13:00~13:30 受付

13:30~13:35 開会行事

13:35~15:30 【講演】

「誰ひとり取り残さないまちづくり

～今、子ども達に求められている居場所とは～」

講師 認定NPO法人フリースペースたまりば

理事長 西野 博之 氏



15:30~15:45 休憩

15:45~16:10 【グループ協議】

「各市町村の子どもの居場所づくりについて」

16:10~16:15 閉会行事

【講演内容より】

現代社会において

- ・10歳から39歳までの死因の1位は自死
- ・小中高の自死数…514人(2022年)
- ・いじめが一番多く報告されている学年は
小学校2年生
- ・自分の居場所が見つけられない
- ・日本の精神的幸福度 38か国中37位
(ユニセフ)

その背景には…

- ・「ちゃんと」「ふつう」を求める家庭の在り方
- ・「やりたいこと」より
「やらねばならないこと」が
優先されている社会
- ・親の子どもに対する
過干渉

社会教育委員として、保護者としてできること

- ・『遊び』がもつ力＝非認知能力：安心して失敗できる環境づくり
- ・不登校児童生徒は学校嫌いな子と決めつけない
「自分にとって意味ある時間だったと思えるように
支えることが大切」
- ・『大丈夫』という安心のタネをまこう
- ・社会は変化しているから…学校教育以外での学習権の保証
- ・親にできることは…「クウ・ネル・ダス」に気を配るだけ

《感想》

- ・不登校の子どもたちがこんなにも増えている。そうなってしまった社会を作ってしまったのも大人ですが、この現実を変えていけるのも大人なので子どもたちの気持ちを聞ける大人になれるようにしたいと思いました。
- ・子どもにとって遊びはとても大切なこと。失敗を恐れないこと。そのため的大丈夫のタネをまくこと。
- ・大人たちの不安が子どもたちを追い詰めている。大人のよかれは子どもの迷惑。
- ・親の価値観で子どもの自由が失われていく現状がよくわかった。心と身体のバランスを保ち「遊び」が持つ力を生かすことが重要と感じた。また親を含む大人の考え方も変えていく必要がある。
- ・フリースペースが遊ぶばかりでその後は子どもはどうなっていくのか気がかりでしたが自分のしたいことをして自分を認めることができたなら自ら高校に行けるようになったと聞いてびっくりしました。遊ぶということがやはり大切なんですね。